

091	全快祝いのお礼 改まった文例
<p>拜復 このたびは、私の退院がお耳に届き、早速ごていねいなお祝いをお気遣いいただき、誠にありがとうございます。退院の喜びが、またさらに大きくふくらみました。</p> <p>入院加療中は、足しげく幾度もお見舞いにおいでくださり、感謝の申し上げようもございません。とりわけ、病状芳しからざる時期、滅入りがちな気分が、どれだけ慰められたか、筆舌に尽くしがたいほどでございます。今回退院がかないましたのは、尊台のご芳情のものにほかなりません。</p> <p>今後はお言葉に従い、十分に自宅にて静養した後、無理をせぬ働き方を心がけて、二度とこのようなご心配をおかけせぬよう努めたいと存じます。</p> <p>ふつつかな小生でございますが、この先も末長くご厚情をたまわりますよう、謹んでお願い申し上げます。次第でございます。</p> <p>略儀ながら卑簡にて、お礼まで申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">謹言</p>	